鈴鹿市立長太小学校だより　No.16　R８．１１．１２

おおくす



歴史の学習で学んだことを確かめる　～6年生 修学旅行～


法隆寺

11月4日（水）～11月5日（木）、修学旅行を実施しました。6年生はこの日を一つの学年目標到達点として、歴史の学習はもちろん、集団行動やマナーについても約束や決まりを考えながら取り組んできました。

行先は、今年も奈良・京都で、歴史学習で学んだことについて、実物を直接見学することでさらに日本の歴史や日本文化についての学びを深めました。


東大寺

行楽シーズンとあって見学地は混雑していましたが、今年の6年生もたいへんマナーが良く、しっかりした集団行動ができていたので、ほぼ時間通り順調に旅程を進めることができました。


清水寺

天気予報では、1日目の夕方から翌日朝にかけて雨が降り、気温も低くなるだろうと言われていましたが、子どもたちの心がけがよかったのか、見学中に雨は降らず2日とも好天に恵まれました。

子どもたちは、それぞれの見学地で昔の人々の暮らしや努力、願い等を想像しながら、太古の時代に当時の技術の粋を集めて作られた巨大な建築物や美しい庭園をしっかりと見学していました。また、夕刻には京都駅の近未来的な巨大建造物を巡り、ライトアップされた美しい景観を眺めることで、現代と過去の建物を比較することもできました。


京都駅


旅館

旅館では、みんなでおいしく夕食をいただき、お風呂も仲良く一緒に入ることができました。長い距離を歩いて疲れているはずなのに、楽しさのあまりなかなか眠ろうとしない元気な子もいました。

2日目も少し暑いくらいの晴天に恵まれ、順調に見学地を回ることができました。子どもたちは、それぞれの時代に作られた建物に残る時代背景や文化の違いを味わいながら、見学を続けていました。最終の見学地となった映画村では、アトラクションや最後の買い物を楽しみました。子ど


二条城


鹿苑寺　金閣

もたちは、自分の家族やお世話になっている方々へのお土産を買っていこうと、残りわずかな時間を目いっぱい使って買い物をしていました。

帰りのバスでも、子どもたちは終始元気で、カラオケ大会や、楽しい会話をして過ごしていました。最後まで、楽しく心に残る修学旅行になりました。

修学旅行を通して、子どもたちは様々な勉強をするとともに、またひとつ仲間の絆を深めることができたようでした。6年生の保護者の皆様には、旅行前から準備等でいろいろとご協力をいただき、また、当日の送迎もお世話になりました。ありがとうございました。


映画村

架け橋プログラムの授業で、成長した姿を　～1年生 芋ほり体験～



10月29日(木)、1 年生が公開授業で、保育園の先生方に成長した姿を見てもらいました。これは、今年度から鈴鹿市で取り組み始めた「架け橋プログラム」の一環で、幼稚園・保育園と学校の連携を強化し、日常生活や学習活動のスムーズなつながりを目指すものです。

今回、1 年生は生活科の「サツマイモを育てる」学習に取り組み、授業と芋ほり体験活動を見てもらいました。サツマイモは、1 学期に苗を植え、みんなで水やりをして大事に育ててきたもので、1 年生は、収穫の日を楽しみにしていました。保育園の先生に見守られながら、芋ほりを始めると、大きく育った芋がたくさん出てきて子どもたちは大喜びでした。



授業参観後、保育園の先生方からは、「子どもたちが成長していることに安心感を覚えた。」「就学前に育てておくべき習慣や、態度を理解できた。」「話を聞く力、気持ちを伝える力の重要性を再認識した。」等の意見や感想をいただきました。今後も、交流や引継ぎの会議を通して、子どもたちが幼稚園や保育園から小学校にスムーズに進学できるように、連携を強化していきたいと思います。

ピンクの小物を身に付けて「STOPいじめ！」　～「いじめ防止強化月間」～



三重県いじめ防止条例では、県民の理解を深め、社会総がかりでいじめ問題を克服するために 4月と11月を「いじめ防止強化月間」としています。鈴鹿市教育委員会では、いじめ問題を個人や当事者間だけの問題にすることなく、社会全体の問題として捉える機会とし、いじめを生まない環境や社会づくりを目的にピンクシャツ運動を実施しています。長太小学校でも、11月9日(月)～13 日(金)までをピンクシャツ運動週間として、ピンクの小物を身に付けて「STOPいじめ！」の意思を示しています。

今後は、各クラスで、人権目標の再確認を行い、人権劇動画の活用を通して、人権学習を進めていきます。12月8日(火)には大木中学校区の人権フォーラムに6年生の代表が参加し、12月16日(水)には「人権集会」を実施する予定です。継続的に人権学習に取り組んでいくことで、人権意識を高め、いじめ防止へとつなげていきます。ご家庭や地域の皆様におかれましても、この運動の趣旨を十分にご理解いただき、「みんなが安心して暮らせるまちづくり」の推進にご協力ください。